

令和 7 年度の事業評価及び令和 8 年度の事業概要について

基本目標Ⅱ 感動と活力に満ちた競技スポーツの推進

推進項目

- (1) トップアスリートの育成・強化の推進
- (2) 競技スポーツに対する推進体制の充実
- (3) トップレベルのスポーツに触れる機会の創出

◆…改善の余地がある事業

施策の実施内容 (D0)

- 令和 5 年度から始めたスポーツ少年団本部優秀選手章表彰については、令和 7 年度は 4 競技で 22 名の団員の表彰を実施した。
- 指導者の資質向上を図るため、公益財団法人酒田市スポーツ協会へ委託し、令和 7 年度は次の 2 回にわたり講習会を開催した。1 回目は、みずほ整骨院の吉泉貴裕院長を講師に招き、「怪我の予防・対処について」をテーマに講演会を実施した。2 回目は、東京 2025 デフリンピックサッカー日本代表の齋藤心温選手を講師に迎え、「『Wake Your Dreams』～東京 2025 デフリンピックまでの軌跡、その先へ～」と題した講演会を開催した。講演では「Wake Your Dreams (夢を呼び起こせ)」をキーワードに、同選手がデフリンピック出場に至るまでの努力や、数々の苦難を乗り越えてきた経験が語られた。
- スポーツ少年団本部指導者研修会では、さとこ女性クリニック院長を講師に招き、女子団員の健康課題に関する基礎知識をはじめ、適切な服薬や食事、婦人科受診の大切さなどを講演いただいた。
- ◆ (公財) 酒田市スポーツ協会やスポーツ少年団本部で講演会等を開催しているが、より多くの指導者や保護者等に参加してもらうために、周知方法も含め、内容や方策を検討する必要がある (スポーツ協会/1 回目: 15 名、2 回目: 87 名 スポ少本部/23 名)。
- 県駅伝酒田飽海地区実行委員会へ負担金を支出し、山形県縦断駅伝競走大会・女子駅伝競走大会に出場する酒田飽海チームを支援した (県縦断駅伝: 総合 2 位、女子駅伝: 第 4 位)。
- 2025-2026 シーズン「大同生命 SV.LEAGUE」に参戦した「アランマーレ山形」について、市乗合バスへのラッピングをして市を挙げて応援する意識の醸成を図った。

《参考》

- ①パスラボ山形ワイヴァンズのプレシーズンゲームが、7 年ぶりに酒田市 (I N P E X 酒田アリーナ) で開催された。
- ②本市出身の北の若 (八角部屋) については、年間を通じて毎場所の星取表を市役所 1 階ロビーに掲示した。
- ※「北の若を応援する会」(後援会業務) について、改めて事務局体制について検討する必要がある。

施策としての現状評価（CHECK）

- 選手のモチベーションを高めるために、激励金の交付や市スポーツ少年団本部の表彰を継続していくことが有効と考えられる。
- 直接的に競技力向上につながるトレーニング方法のみならず、精神面（メンタル）、身体ケア（コンディショニング）を身に付ける講習会の開催などにより、トップアスリートの育成や指導者の養成・確保に繋がっていると考える。
- ◆国民スポーツ大会への出場種目数が前年比で増加しているものの、目標達成のためには、有望なジュニア世代の選手が市外・県外へ流出するのを防ぐ必要がある。
- トップレベルのスポーツに触れる機会については、山形ワイヴァンズのプレシーズンマッチがINPEX酒田アリーナで開催されるなど、徐々に直接市民が観戦できる機会が増え始めている。引き続き県内や東北に拠点を置くプロスポーツチームなどに本市の体育施設をPRし、市民がトップレベルのスポーツに触れる機会を創出していく。
- 本市で創設されたアランマーレ山形は、今季をもって秋田県へと本拠地を移すこととなり、チーム名も「アランマーレ秋田庄内」と変わるが、引き続きマザータウンとする酒田市での試合開催も行うことが予定されており、引き続き市民の「みる」スポーツへの興味・関心を高めることに寄与していると考えられる。

改善の内容（ACTION）／令和8年度以降の計画（PLAN）

- ・指導者の確保、特に若手の指導者の養成と確保に努めることが重要と考えられるため、今後も市スポーツ協会や県スポーツ少年団本部等と連携しながら、指導者講習会の内容充実を図り、指導者の養成・確保に加え、その資質向上に努めていく。
- ・トップレベルのスポーツに触れる機会を数多く創出して、市民の「みる」スポーツへの興味と関心を高めるために、市スポーツ協会等関係団体と連携して東北大会以上の大会誘致に努めていく。また、東北や県内に拠点を多くプロスポーツチームに市体育施設等のリニューアル状況等PRし、ファンイベントや練習試合等の開催を呼び掛けていく。

数値目標

		指標値(R11)	現状値
KPI	国民スポーツ大会への出場種目数	20 種目以上	16 種目

関連事業

No.	事業名	指標			事業費(千円)
		指標名	単位	R6 年度	R7 年度(決算)
				R7 年度	R8 年度(予算)
1	トップアスリート育成支援事業	国民体育大会への出場種目数	種目	12	13,749
				16	14,898

